



# 貴船だより

令和4年6月1日発行 第3号  
大田区立大森第一小学校  
校長 鈴木 伸作

—健康で安全な生活ができる子—おもいやりがりあり仲よく助け合う子—自ら考え行動する子—

学校 HP もご覧ください。 <http://academic2.plala.or.jp/omr1-e/>

## 子どもの心のサポート月間

校長 鈴木伸作

5月の下旬から夏を思わせる日が続きましたが、学校に植えてあるアジサイの花が徐々に色づき始め梅雨の時期の到来を思わせるようになりました。校門前の梅の木も大きな実をつけています。

さて、6月は「心のサポート月間」で子どもたちが毎日の学校生活を充実して過ごせるよう、4年生以上で学校生活調査、3年生以上で学級集団調査を行います。子どもたちが毎日元気に登校し、楽しく充実した顔で各家庭に戻る事が一番大事です。そのためには、学校が子どもにとって居心地の良い場所であることが大切だと思います。居心地の良さとは、各学級に自分の安心できる場所があり、友達と切磋琢磨しながら、勉強に運動に打ち込めることだと考えます。このような居心地の良さは学校での生活環境を整えることで得られることもありますが、子どもの中の意識として自己肯定感を強くもっているかどうか重要です。

本校では、子どもたち一人一人の自己肯定感を高めるために、学級や学年だけではなく、縦割り班活動(異学年交流活動)を積極的に行っています。縦割り班活動は、1年生から6年生までの児童が集まり遊びや清掃活動、給食会(コロナの影響で実施できていません)などを行います。6年生がリーダー、5年生がサブリーダー、4年生がプレリーダー、3年生がジュニアリーダーと役割をもち、それぞれが責任をもって活動に取り組みます。以前ある脳外科の先生が書いた本の中で、人は他の人のために行動し、目的が達成されたときに強い成就感や達成感、幸福感を得ると書いてありました。人のために行動した経験の繰り返しで自分の自信につながり、さらに生きる糧になり、将来困難に遭ったときに「自分は負けない」「乗り越えてみせる」という力として生かされることでしょう。

ご家庭でも、お子さんが頑張ったとき、少しでも何かができるようになったとき、家族のために何らかの仕事をしたときなど、心を込めて「ありがとう」「がんばったね」と励ましの言葉をいただければ幸いです。子どもの心に励ましの言葉をたっぷりと与えて、子どもたちが生き生きとした毎日になることを願っています。

日	曜日	6月 行事予定 ( )数字は学年	放課後遊び
1	水	都学力調査 (5)	
2	木	耳鼻科検診 (全) 補習教室	
3	金	衛生チェック 読書タイム	
4	土		
5	日		
6	月	あいさつキャンペーン・一校一取組 week 全校朝会 委員会活動 (4代表・5・6)	
7	火	補習教室	○
8	水	小中一貫教育の会	
9	木	避難訓練 特別時程 5時間	
10	金	学校公開 (1日目) 安全指導 読書タイム 歯磨き指導 (4)	
11	土	学校公開 (2日目) 道徳授業地区公開講座 補習教室	
12	日		
13	月	全校朝会 クラブ活動 (4~6)	
14	火	音楽朝会 なかよしタイム 補習教室	
15	水	体カテスト 誕生会給食	
16	木	児童集会 屋のたてわり班活動 体カテスト予備日 補習教室 水泳指導前事前健康診断 (希望者)	○
17	金	記名タイム 読書タイム 特別時程	
18	土		
19	日		
20	月	全校朝会 遠足 (1・6) プール開き	
21	火	体育朝会 (3・5) 特別時程 4時間 3-2のみ 5時間	
22	水	体育朝会 (2・4) 特別時程 4時間 鍵盤ハーモニカ講習会 (1)	
23	木	体育朝会 (1・6)	○
24	金	読書タイム	
25	土		
26	日		
27	月	全校朝会 クラブ活動 (4~6)	
28	火	補習教室	○
29	水		
30	木	補習教室	○

※ 行事予定は変更になることがあります。

6月  
目標

生活目標「えいせいに気をつけよう」

保健目標「歯を大切にしましょう」

給食目標「給食の食べ方を考えよう」

### 「歯と口の健康週間」

養護教諭 竹葉 賀津子

6月4日～6月10日は、歯と口の健康週間です。この健康週間はむし歯だけではなく、口腔内も健康に保つことが目標とされています。現代っ子の口の中、むし歯は減少したけれど、口腔内環境の悪化が指摘されています。歯肉等に何か異常が見られた際に「歯科検診結果のお知らせ」をお渡ししています。歯と口の健康について考える機会にさせていただけたらと思います。



## 「2年生の教室から」

2年担任 江野里美 伊藤綾音 鈴木英子

昨年度に引き続き、消防写生会を行うことができました。消防車と消防士の方々を目の前に、きらきらした眼差しで一生懸命に描く姿がありました。「消防車のホースはどのくらい長いのですか?」「消防服は重いですか?」などと、積極的に質問し、意欲的に参加する児童もいました。

また、1年生に描く場所を譲ったり、進んで声をかけたり、2年生として親切な行動が見られ、とても立派に感じました。



生活科の時間には、ピーマン・ミニトマト・ナス・オクラから自分の育てたい野菜を選び、植木鉢に苗を植えました。

苗植えの際には、NPO 法人大田・花とみどりのまちづくりの方にゲストティーチャーとして来ていただき、話を聞きました。「苗は野菜の赤ちゃんなんだね。」「葉がふわふわしているから、ふわちゃんって名前を付けたよ。」などと、愛着をもって観察をしました。

野菜を育てていく中で、新たな問題や気付きが生まれます。野菜を育てる活動を通して、野菜栽培に関心を持ち、世話の仕方を調べたり、人に聞いたりしながら愛着をもって世話をしています。野菜に命があることに気付き、親しみをもって大切にすることができるようにしていきます。



5月には、森ヶ崎公園まで遠足に行きました。大きな荷物をもって片道40分程を、一生懸命に歩きました。とても頑張ったと思います。公園では、色々なアスレチックに挑戦したり、展望台から飛行機を見学したり、芝生で鬼あそびをしたり、たっぷりと遊びました。お昼には、おうちの方に作っていただいたお弁当を大喜びで食べていました。

国語の「今日の出来事」に合わせて絵日記を書きました。「友達が増えました。」「道路を安全に歩くことができました。」「班の友達と協力しました。」などと、自分のできたことにも気付き、よい経験となりました。



## 今年度の校内研究

研究主任 安江 航平

本校では毎年、教員の授業力向上のために、校内研究を行っています。今年度の研究主題は、「問題解決的な学習の充実を図る指導の工夫 ～理科、生活科の考察場面の指導を通して～」としました。昨年度に引き続き、理科と生活科を通して、児童の問題解決能力の向上を目指します。ありがたいことに、目白大学教授の石田好広先生と、立正大学講師の清水一豊先生に、今年度もご指導いただけることとなりました。

皆様は、夏休みの自由研究の実験や観察などの最後に「考察」を書いた記憶はあるでしょうか。今回の研究で注目する「考察」は、学習して分かったことを振り返り、自らの学習成果を価値付ける活動です。そこには、児童の学びの軌跡が表れます。教員自身がこうした問題解決的な学習の過程（プロセス）を大切に指導することで、児童がより主体的に学習を楽しむ姿を実現できるものと考えています。

各学年の研究授業後には、「校内研究だより」を発行し、研究の成果を発信しますので、そちらもぜひご覧ください。

## 道徳教育

道徳教育担当 梅川 颯太

本校では、学校生活の多くの場面で、児童の道徳的な心情を育て、判断力・実践意欲をもたせるなど、道徳性を養う教育活動を実践しています。道徳の授業はもちろんのこと、その他の教科の学習や活動の中でも、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育むことを目標としています。

学校公開で、その教育活動の一つでもある、道徳科の授業を見ていただくことで、本校の道徳教育の様子を垣間見ることができると思います。

近年、ネット利用の変化、大人のモラルの低下など、児童を取り巻く社会環境の悪化や、児童の自己肯定感の低さなどがニュースで取り上げられています。道徳が教科化された背景を受け、これからの時代を生き抜く児童に求められる力を身に付けていけるよう、教育活動全体で道徳性を養うことを意識し、全教員で取り組めるよう尽力していきます。

### 重要 学校緊急連絡システムへのご加入はお済みですか?

本校では「学校緊急連絡システム」を使い、保護者の皆様への緊急時のお知らせをメールにて送信していますので、全家庭ご加入ください。申し込みは担任までお願いします。